

第3章 今後の課題と指標の見直し

1. 指標の見直し

中間評価の結果を踏まえ、39指標のうち延べ21指標の見直しを行います。その内訳としては、すでに目標を達成したため終結する5指標、より適切な現状値を求めるためにデータソースを変更する1指標、評価を明確にするために指標の内容を変更する4指標です。また、新たに評価する指標を9指標追加します。

それ以外の指標については、今後も引き続き、最終目標年度までの目標達成に向けて、継続していきます。

<内訳>

区 分	指標数
① 終結する指標	5
② データソースを変更する指標	1
③ 内容を変更する指標	4
④ 新たに追加する指標	11

① 終結する指標（5指標）

〈生活習慣病対策〉

指 標	達成状況
1. ウォーキングコースの増加	平成 29 年度にはつらつ会、ふるさとガイドの協力を得てウォーキングコースを新たに 2 コース作成し、全部で 4 コースとなり、目標を達成しました。 ●目標値 4 コース 〈参考〉直近値(R1 4 コース)
2. 朝食を食べる者の割合増加 【週 4 日以上朝食を食べる (40～74 歳)】	計画策定時より目標の 95%近い割合を維持できており、目標としてはほぼ達成できています。 ●目標値 95%以上 〈参考〉直近値 (R1 94.8%)
3. 健康相談利用者数の増加	健康相談利用者数は増加し目標は達成しました。 ●目標値 20 人以上 〈参考〉直近値(R1 33 人)
4. 1 歳児親子教室参加率の向上	参加率は目標値まではいかないが、80%台の高い数値で推移しており、啓発としてはおおよその目標を達成しました。今後は乳幼児健診等で啓発していきます。 ●目標値 83%以上 〈参考〉直近値(R1 80.2%)

〈歯及び口腔の健康〉

指 標	達成状況
5. 80 歳で 20 本以上自分の歯を有する者の増加	80 歳で 20 本以上自分の歯を有する者は、年々増加傾向にあり目標を達成しました。 ●目標値 30 人以上 〈参考〉直近値(R1 33 人)

② データソースを変更する指標（1指標）

〈がん対策〉

指 標	変更する理由			
1. 受診率の 向上	がん検診受診率において平成 26 年度の計画策定時から平成 29 年度の現状値の対象者は推計対象者（市町村人口－就業者数－農林水産業従事者数）のみの報告でした。。平成 28 年度に厚生労働省の「地域保健報告・健康増進事業報告」におけるがん検診の対象者の考え方が変更され弥富市ではそれぞれの年齢の全住民としました。経年比較するために推定対象者、全住民対象者両方の対象者両方での受診率を換算することとします。			
	●目標値（R7）		●直近値（R1）	
	推計対象	全住民	推計対象	全住民
胃がん検診	40%	18%	19.7%	8.6%
肺がん検診	40%	18%	22.7%	9.9%
大腸がん検診	40%	18%	22.7%	9.9%
子宮がん検診	50%	23%	18.9%	8.9%
乳がん検診	50%	23%	18.0%	9.5%

③ 内容を変更する指標（4 指標）

〈たばこ対策〉

指 標		策定時 (H26)	直近値 (R1)	目標値 (R7)	変更する理由
策定時	1. 母子健康手帳交付 1 か月後の喫煙率	未把握	0%	0%	策定時の指標は少人数での指標 となるため、母子手帳交付時の 妊婦喫煙率に変更します。
見直し後	妊婦喫煙率 【母子健康手帳交付時】		1.6%	0%	

〈生活習慣病対策〉

指 標		策定時 (H26)	直近値 (R1)	目標値 (R7)	変更する理由
策定時	2. 朝食を食べる者の 割合増加【3 歳児】	93.1%	94.0%	95%以上	県の指標に合わせ、指標を変更 します。
見直し後	朝食を欠食する 3 歳 児の割合の減少		6%	0%	

〈歯及び口腔の健康〉

指 標		策定時 (H26)	直近値 (R1)	目標値 (R7)	変更する理由
策定時	3. 口腔機能低下疑いの 割合減少	14.4%	評価不能		口腔機能低下疑いの割合減少に ついては、状況把握方法が変更 となったため評価不能となりま した。 高齢期の口腔機能の維持・向上 を図るよう県の「歯科口腔保健 基本計画」が見直されたことに 合わせて変更します。
見直し後	80 歳（75～84 歳）の オーラルフレイル傾向 の者の割合の低下 【後期高齢者健診受診者】		7.2%	5%	

〈こころの健康〉

指 標		策定時 (H26)	直近値 (R1)	目標値 (R7)	変更する理由
策定時	4. ゲートキーパーの 人数の増加	326 人 (H27)	476 人	400 人 (R2)	策定時の指標は目標を達成しま した。弥富市自殺対策計画の評 価指標に合わせて変更します。 今後は自殺対策計画と整合性を もって推進していきます。
見直し後	ゲートキーパー養成 研修受講者数		年 20 人	年 25 人	

④ 新たに追加する指標（１１指標）

〈がん対策〉

指 標		データソース	直近値 (R1)	目標値 (R7)	追加する理由
精検受診率	1. 胃がん検診	各がん検診の精検 受診者の割合 がん検診結果報告 及び歯周疾患検診 実施状況報告	84.1%	100%	がん検診精検未受診 者が確実に精検を受 診できるよう勧奨し ていく必要があるた め、追加します。
	2. 肺がん検診		95.0%	100%	
	3. 大腸がん検診		81.2%	100%	
	4. 子宮がん検診		100%	100%	
	5. 乳がん検診		92.5%	100%	

〈たばこ対策〉

指 標	データソース	直近値 (R1)			目標値 (R7)	追加する理由
6. COPD 認知 度の向上	COPD アンケ ート「どんな病 気か知ってい る」「名前は聞 いたことがあ る」者の割合	62.0% (H30)			80% 以上	受動喫煙防止・肺疾患 予 防 対 策 の た め 、 COPD の 認 知 度 を 上 げ、普及啓発に取り組 む必要があるため、追 加します。
7. 父親 8. 母親 子育て中の家 庭における両 親の喫煙率の 低下	乳幼児健診の アンケートよ り両親の喫煙 の割合	3～4 か月児 健康診査	父親 27.3%	父親 31.7%	父親 25.0% 以下	乳幼児期からの受動 喫煙防止の必要性や たばこの害の啓発に 努めていく必要があ るため、追加します。
母親 2.9%						
1 歳 6 か月児 健康診査		父親 34.2%	母親 4.7%	母親 3.5% 以下		
		母親 4.7%				
3 歳児 健康診査		父親 33.6%	母親 4.7%			
		母親 6.6%				

〈生活習慣病対策〉

指 標	データソース	直近値 (R1)	目標値 (R7)	追加する理由
9. やとみ健康 マイレージ参加 者数の増加	弥富市在住、在勤、在学で 小学生以上	274 人	350 人以上	自分自身の健康づく りの動機付けのため、 追加します。

〈歯及び口腔の健康〉

指 標	データソース	直近値 (R1)	目標値 (R7)	追加する理由
10. 40 歳で 喪失歯のない者 の割合の増加	歯周病検診結果 の喪失歯のない 者の割合	85%	90%	若い世代の歯周病対策として、 むし歯や歯周病の重症化予防 を推進する必要があるため、追 加します。

〈こころの健康〉

指 標	データソース	直近値 (R1)	目標値 (R7)	追加する理由
11. こころの 健康に関する健 康教育の回数	弥富市民	年 1 回	延べ 10 回	こころの健康づくりの啓発の ため、弥富市自殺対策計画の評 価指標に合わせて追加します。

2. 今後の課題と重点項目

最終目標年度に向け、すでに目標を達成したA判定の指標及び策定時より改善したB判定の指標では、さらなる推進を図るとともに、変化なしのC判定及び策定時より悪化したD判定の指標では、今後の改善につながる対策を講じる必要があります。

今後の課題について以下のように整理しました。

<今後の課題>

<がん・たばこ対策> がん検診受診率や精密検査受診率の向上 喫煙や受動喫煙防止の啓発 COPDの啓発	<生活習慣病対策> メタボリックシンドローム、肥満予防対策 運動習慣をつけるための啓発 やとみ健康マイレージの推進
<歯及び口腔の健康> 小中学校での歯科健康教育の充実 若い世代の歯周病対策 高齢期における口腔機能の保持	<こころの健康> 睡眠の重要性についての啓発 こころの健康教育の啓発 妊娠期から子育て中の母への継続的な支援

また、各分野において新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響についても大きな課題となり、それぞれの対策も必要となってきます。

<重点項目>

以上のことを踏まえ、「がん・たばこ対策」においてはそれぞれの分野に分け、目標達成のために取り組む必要があると考えました。今回中間評価を実施した結果、健康寿命の延伸のために以下の5項目を重点項目として取り組んでいきたいと考えます。

重点項目5本柱				
1	2	3	4	5
がん対策	たばこ対策	生活習慣病対策	歯及び口腔の健康	こころの健康